

直方の歴史と文化

高取焼内ヶ磯窯跡

文 柳正澄

第 24 回

文化財の名称と種別 高取焼内ヶ磯窯跡

史跡・江戸時代

福智山ダムの完成後は現地を見る
ことが不可能になったため文化財の
指定は受けていませんが、高取焼の
歴史の中でも重要な窯跡です。

文化財の所在地

かつては福智山の登山路に接して
いましたが、現在は南岸のダム管理
事務所の真下の水面下にあり、対
岸の周回道路に面して説明板が設
置されています。北岸には平成22年
(2010)に作られた、麻生太郎元
総理大臣揮毫の記念碑があります。



内ヶ磯窯跡（発掘調査当時）

永満寺宅間窯から内ヶ磯窯へ

「筑前国続風土記」、「高取歴代記録」
によると、慶長19年（1614）に
開窯しています。

①大形の登り窯（階段式連房と呼ば
れ全長約46メートルと当時最大級
規模）の建設が可能な地形であっ
た。

②福地川に面し用水の確保が容易。
③燃料用の大量の薪の確保が容易。
などが移転理由と推測されます。

内ヶ磯窯の特徴

①高取焼諸窯の中で最初に発掘調査
が行われ、後日周辺まで広く調査
された。膨大な出土品などの詳細
な報告書は陶磁器研究に大きな影
響を与えた。

②出土品の分析により茶入、茶碗、
水指などの茶陶製品以外に皿、鉢、
壺、徳利などの日常雑器も生産さ
れる二重性を持つ窯であった。

③宅間窯の時代に比べ、釉薬や技法
が多様化しており、国内の他の窯
の工人や茶人大名として名高い古
田織部の影響を論じる研究が盛ん
である。

高取焼の流転

寛永元年（1624）、高取八蔵は
嘉麻郡山田村（現在の嘉麻市）に移
りましたが、残った陶工たちによって
寛永7年頃まで内ヶ磯窯での生産が
続いたものと思われます。以後、高
取焼の窯は山田から白旗山（飯塚市）、
小石原（東峰村）と転々となりました。

高取焼に関するイベント

- ①平成26年（2014）
内ヶ磯窯開窯四百年記念行事とし
て、発掘出土品展示や記念講演会、
五千人茶会。
- ②平成28年（2016）
桃山茶陶織部高取展や東京・京都
の研究者による講演会。
- ③平成29年4月30日
ちくぜんのおがた高取焼大茶会。
各流派の茶会、直方日若踊・植木
三申踊の披露、陶芸体験、鷹取城
模型の展示などのイベントが開催
される。



内ヶ磯窯出土品
(郷土資料室に展示)

文化財に関する問い合わせ

文化・スポーツ推進課社会教育係
(TEL 25-12326)

編集後記

世界的写真家の鋤田さん。大御所
から若手まで様々な音楽家を撮り続
け、今でも純粋にいい写真を追求する
姿に感銘を受けました。音楽素人であ
る我々の取材にも丁寧に応じてくださ
り、その懐の深さにも脱帽。(Y)

人の動き

■人口	57,335 人（－458）	■世帯数	26,793 世帯（－38）
〔うち外国人 408 人〕			
男	26,954 人（－222）	全て平成 29 年 1 月末現在	
女	30,381 人（－236）	（ ）は前年同月との比較	

- ◆発行…直方市 〒822-8501 福岡県直方市殿町 7 番 1 号
URL <http://www.city.nogata.fukuoka.jp/>
- ◆発行日…毎月 1 日、15 日（月 2 回）
- ◆編集…企画経営課ふるさと情報係
TEL (0949)25-2236 / FAX (0949) 24-3812
E-MAIL n-koho@city.nogata.fukuoka.jp
- ◆印刷・制作…久野印刷株式会社

携帯電話向け情報提供サービス



情報メール
「つながるのおがた」
緊急情報、イベント情報など



直方市携帯電話ホームページ

休日当番医、市役所電話帳など

UD FONT